

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：総務事務センター

担当名：総務事務システム第一担当

内線：2395

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P29	総務事務システム再構築事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	総務事務集中管理費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 6年度	根拠 法令				針路 分野施策		SDGsコード	8, 9, 17	
								SDGsターゲット	8-2, 9-1, 17-14	
<p>1 事業概要</p> <p>現行の総務事務システムは稼働から14年が経過し、セキュリティ維持や機能改修などにおいて、運用上の課題が生じている。</p> <p>現行システムの機器賃貸借契約の満了(令和6年12月)に伴い、当システムが抱える重要課題の解決に加え、最新技術の活用やさらなるペーパーレス化など、DX推進を踏まえた抜本的な機能見直しを行っていく。</p> <p>契約差金及び事務費節減による減額 (1) システム開発費 △107,648千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 総務事務システムの再構築 232,813千円 → 125,165千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 次期総務事務システムの設計・構築 令和3年度の最適化計画、令和4年度の要件定義を基に、令和5年度から令和6年度にかけて、総務事務システムの設計・構築を行う。</p> <p>(3) 事業効果 ア 旧式化したシステムから脱却し、セキュリティ強化、クラウド移行等を実現する。 イ UI/UXの改善により、ユーザーの利便性を向上させる。 ウ 教育局の総務事務システムと統合し、運用コストを削減する。</p> <p>(4) 補正予算の概要 ア 次期総務事務システム構築業務委託の契約差金及び事務費の節減による減額</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>										
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 包括算定経費(細目) 企画費 (細節) 情報管理等費 (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.1人=76,950千円 ※増員要求中</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△107,648							△107,648	125,165	
現計額	232,813							232,813		

事業内訳書

事業名	総務事務システム再構築事業費		
単位事業名	システム開発費	予算額	△ 107,648千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△107,648	—	
合計	△107,648	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△60	—	総合評価委員謝金の減 △1回（2名分）
委託料	△107,588	—	契約差金の減額
合計	△107,648	—	